

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20642
事業名	中小企業金融対策資金貸付金					
評価担当課	所属名	経)産業振興部 商業・経営支援				
	課長名	高橋	担当者名	山本	電話番号	211-2372
施策名	主	創造性を生かしたイノベーションの誘発				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	市内中小企業者等が低利で安定した資金を円滑に調達できるようにするため。			
		長期	市内経済を支える中小企業者等の安定した資金調達を支援することにより、札幌の経済・産業の活性化を図るため。			
	取組内容	①市内中小企業者等が安定した資金を円滑に調達できるように低利な融資制度を設けており、融資に必要な原資の一部を取扱金融機関へ預託する。 ※本市の中小企業者等向け融資制度は、大きく分けて、通常の事業資金である「一般中小企業振興資金(マル札資金)」と、特定の要件を満たす場合に大口設備融資などが受けられる「特別資金」がある。 ②新型コロナウイルス緊急資金(R3年度で取扱い終了)の利子を3年間全額補助する。				
	実施結果	令和3年度新規融資実績 ・マル札資金:融資件数4,454件、融資金額54,138,336千円 ・特別資金:融資件数105件、融資金額2,398,650千円				
事業実施における工夫点	社会経済情勢や市内中小企業者等のニーズ、国や道の動向等を踏まえ、適宜制度改正を行っている。令和3年度においては、新型コロナ対応サポート資金の創設や新型コロナウイルス緊急資金の取扱期間の延長等を実施した。					
対象者	市内中小企業者等	開始	昭和19年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市中小企業振興条例 札幌市中小企業融資制度要綱、同取扱細則					
他都市の状況	全国の政令指定都市においても、中小企業者等支援のための融資制度を設けている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	87,278,130	136,491,000	86,980,998	101,961,000	
うち特定財源	87,278,076	136,483,627	86,979,200	101,958,504	
人工	0.8	0.8	0.8	0.8	
人件費	5,760	5,760	5,760	5,760	
計(事業費+人件費)	87,283,890	136,496,760	86,986,758	101,966,760	
事業費の内訳	令和3年度決算	○預託金額:86,979,200千円 ○利子助成:1,410千円 ○その他(パンフレット代):388千円			
	令和4年度予算	○預託金額:101,958,000千円 ○利子助成:2,000千円 ○その他(パンフレット代):1,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	新規融資件数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	5,734件	7,500件	4,559件	5,000件	
活動指標2	指標名	新規融資金額			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	124,503百万円	89,000百万円	56,537百万円	50,000百万円	
成果指標1	指標名	札幌みらい資金の年間新規融資金額			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	3,708百万円	7,500百万円	3,860百万円	8,500百万円	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	当融資の利用件数は減少しているが、新型コロナより経営に影響を受けている中小企業者等に向けた低利な資金を用意し、引き続き多額の融資が実行されており、札幌の経済を支える中小企業者等の資金調達円滑化のためのメニューとして役割を果たしている。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	当融資の融資枠が不足することがないよう、融資実行状況に応じて適宜補正予算を組むなど、見直しを行っており、適切といえる。			
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・融資には与信判断等の専門知識が必要とされ、地方公共団体が中小企業者等に対して直接融資を行うことは困難であるため、金融機関と連携した融資制度としている。 ・札幌市が取扱金融機関に対し融資に必要な原資の一部を預託しており、中小企業者等へ直接利子助成を行う等のその他の手法よりも、財政面、事務的ともに効率的な手法と考えており、適切である。 			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	中小企業者の相談窓口である札幌中小企業センターや、市内金融機関へのヒアリングを定期的に行い、利用者及び金融機関のニーズを的確に把握するよう努めている。今年度も引き続き、新型コロナウイルスの影響を受けている中小企業者等を支援する融資制度を設けるなど、経済・社会状況の変化に対応していると言える。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	企業経営動向調査や相談窓口における対応等を踏まえ、中小企業者等や取扱金融機関のニーズ、経済環境の変化を随時把握するとともに、国・他都市の状況も勘案し、中小企業者等にとってより利便性等の高い融資制度となるよう、必要に応じて見直しを図る。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	新型コロナウイルス感染症やそれに伴う行動制限により影響を受けている中小企業者等を支援するため、融資制度の運用を行った。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の流行により影響を受けている中小企業者等を支援する資金を設けるなど、社会情勢や経済状況に応じ、中小企業者等の資金調達円滑化に効果的な役割を果たしているため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 中小企業者等や取扱金融機関のニーズ、経済環境の変化や国・他都市の状況を踏まえ、中小企業者等にとってより利便性等の高い融資制度となるよう、必要に応じて見直しを図る。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 融資制度は、中小企業者にとってのセーフティネットの役割を有しており、引き続き相応の融資枠が必要となる。		見直し効果額	0